令和８年度

入学者選抜要項

名寄市立大学　保健福祉学部

NAYORO CITY UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ．学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）・・・・・・・・・　1

Ⅱ．入学定員・募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅲ．選抜日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅳ．試験会場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅴ．総合型選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅵ．学校推薦型選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

Ⅶ．社会人選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅷ．一般選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Ⅸ．合理的配慮を必要とする入学志願者の事前相談・・・・・・・・・・・10

Ⅹ．学生募集要項について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

Ⅺ．問い合わせ、事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

Ⅰ．学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

保健福祉学部

「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す」を理念とする名寄市立大学保健福祉学部は、「保健・医療・福祉・保育関係の職に携わる職業人としての適性と自主自立の気概を有し、社会に貢献し、自己の目標実現に向けて努力する学生」を受け入れます。

栄養学科

人々の健康と生活の質の向上に貢献し、栄養管理および栄養教育ができる専門家を目指す学生を求める。

１　入学に向けた望ましい学びや経験

栄養学は自然科学に係る内容だけでなく社会科学に係る内容も含む。管理栄養士は栄養学を基礎とし幅広い知識・技術が求められることから、入学までにはその基礎となる学力をしっかり身につけることが望まれる。また、管理栄養士は対人サービスを行う専門職であることに加え、他職種と協働して健康・食生活に関する課題解決に取り組むことが多いことから、相手の話したいこと、伝えたいこと、聞いてほしいことなどを引き出すことができる力や自分の考えなどを相手が理解できるように伝えることができる力などのコミュニケーション（言語・非言語）能力、課題解決に向けて主体的に取り組む力が求められる。人とかかわる力やコミュニケーション能力は普段の人間関係を通して育まれるため、普段から対面での人とのかかわりをもつ機会を積極的に増やすことが望まれる。さらに、食生活を含む自分の生活を自分で管理する能力も求められることから、自分の生活をつくっていく基本的な力を入学までに身につけてくることが望まれる。

２　栄養学科にふさわしい能力や適性

① 幅広い分野について高い基礎学力を有している。
② 自主自立の気概を有し、社会貢献および目標実現に向けて努力する能力を有している。
③ 地域社会や人びとの生活・健康などに関する課題に広く関心をもち、その解決に向けて主体的に取り組む意欲を有している。
④ 他者理解とコミュニケーションの基礎となるリテラシーを有している。
⑤ 自己を適切に表現できるコミュニケーション能力を有している。
⑥ 論理的な思考力を備えている。
⑦ 自分の生活を整える基本的な能力を有している。

看護学科

看護のあり方を幅広い視野で探究するとともに、地域社会への関心をもち、自ら学びを深める姿勢をもつ学生を求める。

１　入学に向けた望ましい学びや経験

看護者には、人々の健康や生命を大切に考え、専門的な知識・技術を培うことが求められる。そのためには看護者は、人々がよりよい健康を目指した活動ができるように、社会の課題に関心をもち、自ら課題解決に向けて取り組む能力が求められる。また看護を必要としている場合には、その人のできること・できないこと、必要としていることを理解できる温かな洞察力とコミュニケーション能力が必要である。その人が満足すること・幸せに思うことを知り、その人と共に最善の方法を導き出していく能力である。こうした能力は、出会った人々との多様な人間関係を経験することによって、自己と他者の価値観の違いを知り形成されていく。様々な人々との出会いによって、自分自身が成長できているという経験を積んでおくことが望まれる。

看護者は、チームメンバーと協働してケアを提供する。チームの一員として自らの健康管理に留意すること、日常求められる行動に責任をもつことが、お互いの信頼関係を築いていく。そのためには、自分のできること・できないことを表現する力、サポートし合う力が必要である。またチームメンバーの良さや強みを認め合い、成果を目指して調整する能力が必要である。これらのことを意識して、入学前の学習と活動に臨むことが求められる。

２　看護学科にふさわしい能力や適性

① 幅広く興味を持って教科科目を学習し、高い基礎学力を有している。
② 健康および環境問題に関心を持ち、課題解決に向けた意欲を有している。
③ 自己を適切に表現できるコミュニケーション能力を有している。
④ 他者を深く理解しようとする姿勢を有している。
⑤ 論理的な思考力を備えている。
⑥ 社会的な活動に関する経験や意欲を有している。
⑦ 国際的な視野を持ち、課題を解決する意欲を有している。

社会福祉学科

社会福祉を基盤とし、生活・健康・教育などについて専門的に学び、一人ひとりを大切にする対人援助ができることを目指し、卒業後は、福祉・行政・教育・保健医療などの分野で活躍したいと考えている学生を求める。

１　入学に向けた望ましい学びや経験

社会福祉士は、障がいがあることや環境上の理由によって、日常生活に課題を抱えている人たちや集団・組織、地域からの福祉に関する相談を受け、助言や援助、関係者との連携を専門的な知識と技術を活用してソーシャルワークを行う専門職である。

ソーシャルワークは、知識・価値・技術の総体であり、論理的な思考力が求められる。

ソーシャルワーク実践には、幅広く高い基礎学力が求められ、地域社会や社会環境で起こる課題解決に向けた意欲が必要となる。そのため、各種福祉施設等の見学やボランティア活動を経験することも学びとなる。

また、ソーシャルワーク実践は、相談者との面接が必要であるため、他者を理解し自己を表現するコミュニケーション能力が必要である。さらに、社会福祉現場においてソーシャルワーカーは、多職種・多機関とチームで活動する協働性、個人の情報を扱うという倫理観を持ち、連携調整する能力が必要である。これらのことを意識して、入学前の学習と自発的な活動に臨むことが求められる。

２　社会福祉学科にふさわしい能力や適性

① 幅広い教科科目について学習し、高い基礎学力を有している。
② 地域社会や社会環境の問題に関心を持ち、課題解決に向けた意欲を持っている。
③ 他者理解とコミュニケーションの基礎となるリテラシーを有している。
④ 自己を適切に表現できるコミュニケーション能力を有している。
⑤ 論理的な思考力を備えている。
⑥ 社会的な活動に関する経験や意欲を持っている。
⑦ 公共性や倫理性を基盤として、多様な価値や文化への理解を有している。

社会保育学科

子どもをとりまく社会や環境を広く見据えた保育のあり方を探求し、課題解決に向けて積極的・自発的に学ぶ姿勢をもつ学生を求める。

１　入学に向けた望ましい学びや経験

保育者には、子どもたちに教科書的な知識を教えるよりも、人間形成の基礎を培うことが求められる。もちろん保育の技術も習得しなくてはならないが、とくに大事なものの一つはコミュニケーション能力である。この能力はただ「人と仲良くする」というだけにとどまるものではない。たとえば、共通の目的を達成するために協働する能力、要求や意見の対立を調整し、適切に解決していける能力である。こうした能力は個人の資質や性格によるというよりも、多様な他者と関わる経験を積み重ねることによって形成される。したがって様々な機会や場面で、そうした経験を積んでおくことが望まれる。

入学までに習得しておいてほしいことの中に、保育者になるための特別な専門的知識や技能というものはさほどない。大切なのは、子どものような驚きの感覚と幅広い興味と論理的思考能力である。有能な保育者は自然や社会に対して科学的な関心を持ち、広い視野で考えることができる優れた教養人でもある。これらのことを意識して、入学前の学習と活動に臨むことが求められる。

２　社会保育学科にふさわしい能力や適性

① 幅広い教科科目の学習について、高い基礎学力を有している。
② 歴史や社会問題に関する知識を身につけている。
③ 他者理解とコミュニケーションの基礎となるリテラシーを有している。
④ 他者に対し敬意を持ち自己を適切に表現できるコミュニケーション能力を有している。
⑤ 論理的な思考力を備えている。
⑥ 社会的な活動に関する経験や意欲を持っている。

Ⅱ．入学定員・募集人員

学科名		栄養学科	看護学科	社会福祉学科	社会保育学科
入学定員		40 人	50 人	50 人	50 人
募集人員	総合型選抜	－	－	5 人	5 人
	学校推薦型選抜	20 人(4 人以内)	25 人(5 人以内)	23 人(5 人以内)	25 人(5 人以内)
	一般選抜　前期日程	18 人	23 人	20 人	18 人
	一般選抜　後期日程	2 人	2 人	2 人	2 人
	社会人選抜	若干名	若干名	若干名	若干名

※１　学校推薦型選抜の（　）内は地域指定枠の募集人員を内数として示しています。指定範囲は、上川北部地域、留萌管内、宗谷管内、オホーツク管内に所在する高等学校の在校生です。

※２　各学科の入学定員に欠員が生じた場合は、追加して合格者を決定する場合があります。

※３　欠員補充第２次募集を実施する場合は、決定次第本学ホームページに掲載します。

Ⅲ．選抜日程

入試区分	総合型選抜 （社会福祉学科）	総合型選抜 （社会保育学科）	学校推薦型選抜
出願期間	令和７年９月 16 日(火) ～９月 22 日(月)(消印有効)	令和７年 11 月１日(土) ～11 月７日(金)(消印有効)	令和７年 11 月１日(土) ～11 月７日(金)(消印有効)
試 験 日	令和７年 10 月 13 日(月)	令和７年 11 月 20 日(木)	令和７年 11 月 20 日(木)
合格者発表	令和７年 11 月１日(土)	令和７年 12 月４日(木)	令和７年 12 月４日(木)
入試区分	社会人選抜	一般選抜　前期日程	一般選抜　後期日程
出願期間	令和７年 11 月１日(土) ～11 月７日(金)(消印有効)	令和８年１月 26 日(月) ～２月４日(水)(消印有効)	令和８年１月 26 日(月) ～２月４日(水)(消印有効)
試 験 日	令和７年 11 月 20 日(木)	令和８年２月 25 日(水)	令和８年３月 12 日(木)
合格者発表	令和７年 12 月４日(木)	令和８年３月６日(金)	令和８年３月 20 日(金)

Ⅳ．試験会場

総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人選抜は名寄会場で実施します。

一般選抜前期日程は名寄会場・札幌会場・仙台会場で実施します。

※仙台会場は、栄養学科・社会福祉学科・社会保育学科３学科のみの実施となります。

一般選抜後期日程は札幌会場で実施します。

Ⅴ．総合型選抜

１．出願資格

次の（１）～（３）のいずれか、及び（４）に該当する者です。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和８年３月修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和８年３月 31 日までにこれに該当する見込みのある者。ただし、学校教育法施行規則第 150 条第７号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教務課広報入試係（電話 01654-2-4194）にお問い合わせください。

（４）合格した場合に入学が確約できる者

２．入学者選抜方法

１）社会福祉学科

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等の内容を総合して行います。

（個別学力検査等の評価）

小論文：社会、思想や文化などに関する課題文を提示し、趣旨を踏まえて指定字数以内で適切にまとめる力と、設問に対して適切な根拠や理由をもって自らの考えを正確・平明に論述する力について総合評価します。

個人面接：提出された志望理由書・調査書等に基づき、複数の教員が志願動機、興味・関心、将来の進路などに関する質問を行い、適性、学習意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

２）社会保育学科

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等の内容を総合して行います。

（個別学力検査等の評価）

小論文：社会、思想や文化などに関する課題文を提示し、趣旨を踏まえて指定字数以内で適切にまとめる力と、設問に対して適切な根拠や理由をもって自らの考えを正確・平明に論述する力について総合評価します。

活動：与えられた課題に対してグループで取り組む活動の中で、他者と協働する姿勢について総合評価します。ただし、活動の技術・技能を評価するものではありません。

個人面接：提出された志望理由書・調査書等に基づき、複数の教員が志望動機、活動の振返り、興味・関心、将来の進路などに関する質問を行い、適性、学習意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

３．出願上の注意

出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合、その他不正の事実が認められた場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

Ⅵ. 学校推薦型選抜

１．出願資格

次のいずれかに該当する者です。

（１） 高等学校又は中等教育学校を令和８年３月卒業見込みの者及び令和７年４月から令和８年３月までの卒業者（過年度生を除く）

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者

（３） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和８年３月修了見込みの者

２．推薦要件

次のすべてに該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者とします。

（１）調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者

ただし、栄養学科及び看護学科においては前述の全体 3.8 以上、かつ、数学及び理科の学習成績の状況がそれぞれ 4.0 以上の者

（２）合格した場合、入学することを確約できる者

３．入学者選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等の内容を総合して行います（配点比率は、小論文２：個人面接１とします)。ただし、個別学力検査等で本学の基準に達しない場合は不合格となります。

（個別学力検査等の評価）

小論文：社会、思想や文化などに関する課題文を提示し、趣旨を踏まえて指定字数以内で適切にまとめる力と、設問に対して適切な根拠や理由をもって自らの考えを正確・平明に論述する力について総合評価します。

個人面接：提出された推薦書・志望理由書・調査書等に基づき、複数の教員が志願動機、興味・関心、将来の進路などに関する質問を行い、適性、学習意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

４．出願上の注意

（１）国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、１つの大学・学部です。

（２） 学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者は、本学を含む国公立大学を受験しても合格者となることはできません（ただし、当該大学が定める入学辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除く)。

（３） 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

（４） 出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合、その他不正の事実が認められた場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

Ⅶ. 社会人選抜

１．出願資格

令和８年４月１日までに 22 歳に達し、社会人の経験（職歴）を３年以上有する者で、次のいずれかに該当する者です。なお、社会人の経験（職歴）には家事従事期間を含みますが、定時制・夜間・通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校、予備校等）に在籍していた期間は含めません。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

（３） 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。なお、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教務課広報入試係（電話 01654-2-4194）にお問い合わせください。

２．入学者選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等の内容を総合して行います。

（個別学力検査等の評価）

小論文：社会、思想や文化などに関する課題文を提示し、趣旨を踏まえて指定字数以内で適切にまとめる力と、設問に対して適切な根拠や理由をもって自らの考えを正確・平明に論述する力について総合評価します。

個人面接：提出された履歴書・エントリーシート等に基づき、複数の教員が志願動機、興味・関心、将来の進路などに関する質問を行い、適性、学習意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

３．出願上の注意

出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合、その他不正の事実が認められた場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

Ⅷ．一般選抜

１．選抜方式

「分離分割方式」（前期日程・後期日程）により、個別学力検査等を実施します。

２．出願資格

令和８年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和８年３月修了見込みの者

（３） 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和８年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者。ただし、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳しくは本学教務課広報入試係（電話 01654-2-4194）にお問い合わせください。

３．入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査等の結果を総合して行います。ただし、個別学力検査等で本学の基準に達しない場合は不合格となります。

（個別学力検査等の評価）

小論文：社会、思想や文化などに関する課題文を提示し、設問に対して適切な根拠や理由をもって、指定字数以内で自らの考えを正確・平明に論述する力について総合評価します。

個人面接：提出された志望理由書・調査書等に基づき、複数の教員が志願動機、興味・関心、将来の進路などに関する質問を行い、適性、学習意欲、コミュニケーション能力等を総合評価します。

４．選抜試験の教科・科目・配点

（１）大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

ア　栄養学科・看護学科（前期日程・後期日程）

<table>
<tr><td colspan="3">大学入学共通テスト</td></tr>
<tr><td>教科</td><td>科目</td><td>科目等の選択方法</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>『国語』</td><td>必須</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>『英語』（リスニングを含む）（注１）</td><td>必須</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>『数学Ⅰ，数学Ａ』
『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』</td><td>左記の科目から１科目選択（注３）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科</td><td>『化学基礎／生物基礎』</td><td rowspan="2">左記の科目から１科目を選択
（注２）（注３）</td></tr>
<tr><td>『化学』『生物』</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地理歴史</td><td>『地理総合，地理探究』『歴史総合，
日本史探究』『歴史総合，世界史探究』</td><td rowspan="4">左記の科目から１科目を選択
（注３）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">『地理総合／歴史総合／公共』</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公民</td></tr>
<tr><td>『公共，倫理』『公共，政治・経済』</td></tr>
<tr><td>情報</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr>
<tr><td colspan="3">個別学力検査等
小論文、個人面接</td></tr>
</table>

（注１）受験上の配慮としてリスニングを免除された場合は、リーディングのみの点数とします。

（注２）理科の「基礎を付した科目」は２科目の合計 100 点満点を以て１科目とします。

（注３）２科目を受験した場合は高得点の１科目を合否判定に使用します。

イ　社会福祉学科・社会保育学科（前期日程・後期日程）

大学入学共通テスト		
教科	科目	科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
外国語	『英語』（リスニングを含む）（注４）	必須
数学	『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』	左記の科目から１科目選択 （注５）（注６）
理科	『物理基礎／化学基礎／ ／生物基礎／地学基礎』	
	『物理』『化学』『生物』『地学』	
情報	『情報Ⅰ』	
地理歴史	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』	左記の科目から１科目選択 （注５）
	『地理総合／歴史総合／公共』	
公民	『公共，倫理』『公共，政治・経済』	
個別学力検査等 小論文、個人面接		

（注４）受験上の配慮としてリスニングを免除された場合は、リーディングのみの点数とします。

（注５）理科の「基礎を付した科目」は２科目の合計 100 点満点を以て１科目とします。

（注６）２科目を受験した場合は高得点の１科目を合否判定に使用します。

（２）　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

学科	日程	大学入学共通テストの配点							個別学力検査等の配点			配点合計
		国語	外国語	数学	理科	情報	地歴公民	小計	小論文	個人面接	小計	
栄養学科	前期	100	100	100	100	100		500	160	40	200	700
	後期	100	100	100	100	100		500	160	40	200	700
看護学科	前期	100	100	100	100	100		500	160	40	200	700
	後期	100	100	100	100	100		500	160	40	200	700
社会福祉学科	前期	100	100	100			100	400	160	40	200	600
	後期	100	100	100			100	400	160	40	200	600
社会保育学科	前期	100	100	100			100	400	160	40	200	600
	後期	100	100	100			100	400	160	40	200	600

※大学入学共通テストの国語は、200 点満点を 100 点満点に換算します。

※大学入学共通テストの英語（リスニングを含む）は、200 点満点を 100 点満点に換算します。

※受験上の配慮としてリスニングを免除された場合は、リーディングのみの点数とします。

５．出願上の注意

（１）本学の「前期日程」試験に出願した者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ。）のうち「前期日程」の大学へ出願することはできません。また、本学の「後期日程」試験に出願した者は、他の国公立大学のうち「後期日程」の大学へ出願することはできません。

（２）本学の「前期日程」試験に合格し、令和８年３月 14 日（金）までに入学手続を完了した者は、公立大学の「中期日程」試験、本学並びに他の国公立大学の「後期日程」試験を受験しても、その合格者となることはできません。

（３） 本学を含む国公立大学が実施する学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学を含む国公立大学を受験しても合格者となることはできません（ただし、当該国公立大学の定める入学辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除く）。

（４） 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

（５） 出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合、その他不正の事実が認められた場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

Ⅸ．合理的配慮を必要とする入学志願者の事前相談

障がい等の理由により、受験上および修学上の合理的配慮を必要とする場合には、出願前の早い時期に本学教務課広報入試係まで連絡し相談してください。

Ⅹ．学生募集要項について

本学の入学者選抜に関する詳細は学生募集要項で必ず確認してください。なお学生募集要項は、総合型選抜は８月下旬、それ以外は９月下旬に公表します。詳細は本学ホームページでご確認ください。なお、令和８年度入試から学生募集要項の冊子の作成を廃止し、ホームページでの公開のみとします。

Ⅺ．問い合わせ、事前相談

〒096-8641　北海道名寄市西４条北８丁目１番地
名寄市立大学　教務課広報入試係
電話 01654-2-4194
FAX　01654-3-3354